



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No.30

2025.3.5(No.3235)

ロータリーはステージ・  
みんなが輝く!

第2560地区ガバナー／南雲 博文  
会 長／渡 辺 良 一  
会長エレクト／柳 取 崇 之 (クラブ奉仕A)  
副 会 長／西 山 徳 芳  
幹 事／船 越 良 則  
S A A／落 合 孝 夫  
会 計／小 林 吾 郎  
直 前 会 長／吉 井 直 樹  
会長ノミニー／小 林 吾 郎 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～  
例会場及び事務局／  
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内  
例会場／TEL 34-3311  
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095  
E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数:57名中44名  
■先々週出席率:71.43%

【ビジター】

・米山記念奨学生 胡湘榕さん

【先週のメイクアップ】

[2.28] 吉田RCへ

・田久保良さん

[3.1] 米山奨学期間終了者の終了式・  
歓送会 (新潟) へ

・渋谷政道さん

[3.3] 第8回ガバナー補佐会議 (長岡) へ

・杉山幸英さん

[3.4] 8クラブ有志ゴルフ大会  
打ち合わせ (三條) へ

・杉山幸英さん、重山直明さん



2024～2025 年度国際ロータリーのテーマ



「浅草岳から望む鬼ヶ面山」

## 会長挨拶 「加茂青海神社」

渡辺良一 会長



皆さんこんにちは。ご挨拶いたします。  
今から50年程前に私が初めて新潟の地を  
踏んだのが加茂でした。確か、9月ころの  
事だったと思います。オーバーオールがホームで待っていてくれました…今の妻  
です。

その加茂は癒しの町・再起の町と加茂商工会議所の木戸会  
頭がことあるごと、お話になっています。

南北朝の時代 宗良親王が！幕末の英雄 河合継之助が！

ITの申し子スティーブ・ジョブズが！心癒され再起を図っ  
た街だそうです。

加茂市の歴史 加茂の発祥は朝廷と深く関係していて、6世  
紀頃、青海首(あおみのおびと)と呼ばれる一族がこの地を開  
拓し、青海神社を創建したことが始まりと伝えられていま  
す。青海首の御戈命(みほこのみこと)は大和朝廷の命で北陸  
に侵攻したとされ、その一族が加茂市周辺まで勢力を広げた  
のが発祥だとされています。

そして 794年、桓武天皇による平安遷都の折、青海神社に京都の上賀茂神社・下鴨神社の神様が分けて祀られたご縁から、「賀茂」が「加茂」に、そしてそれが現在の市名の由来となっています。

中世は上杉が支配し元亀元年(1570)に加茂山要害を築くと周辺攻略の拠点となりました。(早部甚甫守や長尾加賀守、本庄備前守、宇佐美平六など8武将が城主となっています)上杉景勝が会津若松に移封すると加茂市の大部分は新発田藩、七谷周辺は村松藩に属し明治維新を迎えます。

青海神社 古伝によれば、越後の名将上杉謙信は享祿3年(1530)正月に三条城で生まれたといえます。母は長岡栖吉城主肥前守長尾頼吉の娘で虎御前といい、たまたま三条城に在ったが、懐妊と知るや、加茂明神(青海神社の通称)に祈願を込め、自分自身も月参りをして安産を祈ったと伝えられています。

先ほどお話いたしました。

スティーブ・ジョブズ 世界中の人が知っているApple社の共同創業者。iPhoneおよびiPadを世に送り出した人。そのジョブズ氏が加茂市の耕泰寺(こうたいじ)で座禅を組んだ。

耕泰寺の乙川弘文(おとがわ こうぶん)氏は1938年2月1日、加茂市の曹洞宗「定光寺」の三男として生まれた。曹洞宗の禅僧となり、アメリカで活躍した。

ジョブズ氏は加茂市のほか燕三条にも訪れ、燕三条の研磨技術がiPodなどのボディに生かされたと言われる。

宗良親王(むねよししんのう/むねながしんのう)は、鎌倉時代後期から南北朝時代にかけての皇族。後醍醐天皇の皇子。二条派の代表的歌人で南朝歌壇の中心でもあり、准勅撰和歌集『新葉和歌集』の撰者となった他、私歌集に『李花集(りかしゅう)』がある。南北朝時代南朝の征夷大將軍として戦い関東(鎌倉等)で敗れ、越後で再起をはかる。その時に加茂の地を訪れたものと思われます。

※「北越」とは、越後(新潟県)と越中(富山県)の総称です。

残るは 河合継之助ですが次の機会にお話したいと思います。

以上で会長挨拶を終わります。

## 幹事報告

船越良則 幹事



◎2025年3月のロータリーレートは、1ドル150円です。

◎三条ローターアクトクラブより

「3月第一例会のご案内」

日時 3月6日(木) 19:30~

会場 リサーチコア 4階・異業種交流室

卓話 渡部 宏 青少年奉仕委員長

◎地区事務所より

「財団・米山感謝の集い午餐会のご案内」

日時 4月5日(土) 12:00~14:30

会場 ANAクラウンプラザホテル新潟

◎室賀ガバナーエレクト事務所より

「2025-26年度 地区研修・協議会のご案内」

日時 4月26日(土) 10:00~18:00

会場 ANAクラウンプラザホテル新潟

## ニコニコBOX

渡辺良一会長

いよいよ春です!

伊藤浩志さん卓話楽しみにしています!

小出子恵出さん

やっと生きています。本年もよろしくお願ひいたします。

関川 博さん

正月からコロナウイルス感染、喘息発症そして、首の粉瘤腫の手術でやっと復帰しました。

伊藤会員卓話楽しみです。

伊藤浩志さん

本日卓話です。よろしくお願ひします。

小林吾郎さん

伊藤さん卓話ががんばってー!

菊池 涉さん

春彼岸の準備に入ろうと思うのですが、気温がなかなか上がらず…。少しあせっています。

嘉瀬一洋さん

いよいよ花粉症の季節となってきました。しばらくマスク着用しなければなりません。つらいです。

伊藤さん卓話よろしくお願ひします。

## 吉井直樹さん

大船渡に待望の雪や雨が降り、山火事が収まりそうであった。被災された方にお見舞い申し上げます。気を付けましょう。

本日伊藤さん卓話ありがとうございます。

## 西山徳芳さん

夕暮れに白鳥が我が家の上をねぐらの下田へ向かって飛んで帰ります。もうすぐ北帰行ですね。

## 野崎喜一郎さん

無精ひげが伸びてきました。剃ろうか、伸ばそうか大変迷っています。

渋谷政道さん、五十嵐博宣さん、齊藤真澄さん、清水泰生さん、杉山幸英さん、小林卓哉さん、歸山 肇さん、野水靖之さん、石橋育於さん、船越良則さん、斎藤弘文さん、落合孝夫さん、小越憲泰さん、高橋 司さん、石倉政雄さん、丸山行彦さん、中村和彦さん、早川滄徳さん、松永一義さん、柳取崇之さん、渡部 宏さん、荻根澤隆雄さん、白倉徳幸さん、高橋俊樹さん、成田秀雄さん、明田川賢一さん、飯塚一樹さん

伊藤浩志会員、本日は卓話よろしく願いいたします。

お話楽しみにしております。

3月5日分 ￥ 42,000  
今年度累計 ￥921,000

ロータリー米山記念奨学会より  
小越憲泰 会員へ  
第26回 米山功労者  
メジャードナー感謝状の授与



## 卓話



## 伊藤浩志 会員

この度、新規で入会させていただきました伊藤浩志と申します。

家業は三条市荒町で婦人服、かばんの小売店を経営しております。私で3代目となります。

創業は大正8年(1919年)三条市田島で、私の祖父伊藤喜一郎が灯油販売業を始めました。その後、一の木戸に移転し、戦前は足袋などを販売、戦後、実用衣料といわれる肌着などの販売を開始しました。昭和30年頃、鞆の販売を始めまして、現在は売上の7割は鞆の販売となっており、そのほかに婦人服、子供服の販売もしております。

創業者喜一郎は、10歳に満たずして、父を亡くし、幼くして商売を覚え、弟・妹を長男という立場で学校に通わせました。妻千恵子と結婚後、長男が生まれましたが、幼くして病死。当時は普通にあったようですが、それぞれ実の弟と実の妹が同じく見合いで所帯を持っており、つまり兄弟姉妹で結婚をしていたので、血のつながる養子を、弟妹から迎え入れました。これが広一で、私の父にあたります。我が一族は、父の姉が靴や、妹が布団屋、その妹が貸衣装屋、その妹が婦人服小売で、末弟に一番商売を大きくした、良三がおります。私から見ると、叔父になるのですが、東京に出て行き、バルビゾン、ファイブフォックス、フランドルといくつかのアパレルメーカーを創業し、一番有名なのは、コムサデモードというブランドで売上が最盛期3000億円くらいあったと聞いております。今、このお話しをさせてもらっている信用金庫さんの裏手、私たちが車を停めている駐車場もその昔は、叔父がフランドルテニスクラブというテニスコートを経営しておりました。叔父は港区中心にバルビゾンビルというビルを100棟も所有していたり、バリ島にホテルを経営していたりして、面白い話がたくさんありますが、それはまたの機会に譲ります。

さて、私は、三人の男兄弟の末弟として生まれました。高校2年の時に、次兄栄二郎が家業を継承しまして、私が高校を卒業する際には、我が家は、兄弟で同じ仕事はさせない、世間には、家業を兄弟でやって、いさかいを起こす話がたくさんある。浩志(私ですが)は自分で生計を立てなさいと言われて、大学は法学部に進みました。父は、こちらのロータリークラブに所属しておりましたので、なかには人柄を知る方もいらっしゃるかと思いますが、相当なワンマンだったため、もし、存命で私が家業を継承しても、決

して親子でうまくやっていったとは思えません。次兄栄二郎は、兄弟の中で、一番穏やかな性格でしたが、父とはソリが合わず、私が大学3年の時に、突然、私のアパートを訪ねてきて、「家業は諦めた、お父さんとは、葬式まで会わない」と宣言しました。まもなく、父が癌に倒れ、私が大学在学中に父は亡くなりました。家族会議が行われ、当時フランスに住んでいた長兄はフランスに住み続ける、次兄は前述の通り、家業はもう諦めた、私は大学生では、映画研究会に属し、黒澤明に私淑し、映画監督を志していました。結果、長兄が、商売はたたんで、家業は、廃業ということになりかけました。

今の私の子供たちもそうなのですが、小売業は、土日もなければ、盆暮れもありません。世間様が休みの日は忙しいので、私が小さい頃は、海も山も親には連れて行ってもらえず、従業員の人たちが私を海や山に連れて行ってくれました。私が生まれる前からうちの店で、働いてくださっていた深澤常務、三井さん、目黒さんといったベテランの方々の顔を見るにつけ、これは、廃業はできないな、でも映画監督は目指したい。私の先生ともいべき黒澤明の第1回監督作品

は、1943年の「姿三四郎」です。私はこの時、24歳。10年、死にもの狂いになって商売に励み、右も左も分からないのだから、多分うまくいかなくて、会社が潰れたら、従業員の皆さんも、馬鹿息子が継いだけど、だめだったね、と諦めてもらえろと思ひ、なにもやりもしないで廃業では申し訳ないと考え、ただひたすらに頑張りました。黒澤明は、助監督になりたての頃、セットの廊下の板に、艶を出すために、一日中、板を雑巾掛けさせられて、それでも、こんなことをして何になるのか？と思わなかったそうです。何事も全身全霊、一生懸命やっていけば、どんな仕事をやっても、仕事というものは面白くなる。逆に言えば、どんなつまらないと思った仕事でも、面白くなるまで打ち込まなければならない、、、黒澤監督のこの言葉を胸に刻んで、家業に打ち込みました。売上は10年も経たないうちに4億円から20億円になりました。そんな時、まだ北京オリンピックも、上海万博も、開催される前の中国上海で、鞆屋をやってみないかというお誘いを頂戴しました。我が青春の上海、、、私は30代の後半になっていました。

#### — 例会の様子 —



次週例会 3月19日 休会（祝日の週）

次々週例会 3月26日 「PETS 報告」  
柳取崇之 会長エレクト

